



平成29年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月27日

上場会社名 山加電業株式会社

上場取引所 東

コード番号 1789 URL <http://www.yamaka.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三森 茂

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 中澤 文雄

TEL 03(5957)7661

四半期報告書提出予定日 平成29年8月3日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第3四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	4,338	0.3	373	349.9	425	253.4	135	20.0
28年9月期第3四半期	4,328	96.8	83		120		112	

(注) 包括利益 29年9月期第3四半期 135百万円 (22.4%) 28年9月期第3四半期 110百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	21.22	
28年9月期第3四半期	17.69	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年9月期第3四半期	3,331	2,007	60.2	315.16
28年9月期	4,249	1,903	44.8	298.94

(参考) 自己資本 29年9月期第3四半期 2,007百万円 28年9月期 1,903百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期		0.00		5.00	5.00
29年9月期		0.00			
29年9月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,319	13.1	207	17.9	252	15.1	200	14.0	31.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期3Q	6,375,284 株	28年9月期	6,375,284 株
期末自己株式数	29年9月期3Q	6,231 株	28年9月期	6,201 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期3Q	6,369,054 株	28年9月期3Q	6,369,083 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、企業収益や設備投資、雇用環境の改善等を背景に、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、米国政権の政策動向や、世界的な地政学的リスクの高まり等の懸念により、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

建設業界におきましては、公共投資・民間設備投資とも底堅い動きとなる一方、慢性的な建設労働者不足や受注競争の激化など厳しい事業環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは工事量と利益確保の経営方針を継続し、グループを挙げて営業活動を積極果敢に展開するとともに、原価の低減、生産性の向上、業務の効率化に努めてまいりました。

また、平成29年5月18日にお知らせした『持分法適用関連会社の異動（譲渡）ならびに特別損益に関するお知らせ』のとおり、特別損益を計上しております。

以上の結果、当社グループの第3四半期連結累計期間の売上高は43億3千8百万円（前年同四半期比0.3%増）となりました。

利益につきましては、施工効率化による工事利益率の好転や固定費削減に努めた結果、営業利益は3億7千3百万円（前年同四半期比349.9%増）、経常利益は4億2千5百万円（前年同四半期比253.4%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億3千5百万円（前年同四半期比20.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（電気工事業）

電気工事業については、手持工事が順調に進捗したこと等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は38億1千3百万円（前年同四半期比2.6%増）、セグメント利益（営業利益）は3億8千万円（前年同四半期比774.4%増）となりました。

（建物管理・清掃業）

建物管理・清掃業については、価格競争が厳しい環境下にあり、中長期修繕等の売上高の減少により、当第3四半期連結累計期間の売上高は5億2千6百万円（前年同四半期比14.0%減）、セグメント損失（営業損失）は6百万円（前年同四半期は3千9百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ9億1千7百万円減少し、33億3千1百万円となっております。また、負債合計は、前連結会計年度末に比べ10億2千万円減少し、13億2千4百万円となっております。純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億3百万円増加し、20億7百万円となっております。

資産の減少の主な要因は、現金預金6億4千8百万円の増加もありましたが、受取手形・完成工事未収入金等12億4千4百万円の減少及び投資有価証券2億6千2百万円の減少によるものであります。

負債の減少の主な要因は、工事未払金13億1千3百万円の減少によるものであります。

純資産の増加の主な要因は、利益剰余金1億3千5百万円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月期の通期の連結業績予想については、今後の完工、受注予測を踏まえました結果、「平成28年9月期決算短信（平成28年11月14日付）」で公表した連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,161,770	1,810,477
受取手形・完成工事未収入金等	1,934,109	689,562
未成工事支出金	79,842	85,953
繰延税金資産	41,818	43,481
その他	91,155	54,808
貸倒引当金	△10,669	△390
流動資産合計	3,298,026	2,683,894
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	369,658	369,503
機械・運搬具	390,081	397,207
工具器具・備品	292,713	188,950
土地	328,042	328,042
減価償却累計額及び減損損失累計額	△852,674	△780,669
有形固定資産合計	527,821	503,033
無形固定資産		
のれん	67,839	55,561
その他	23,499	18,811
無形固定資産合計	91,339	74,373
投資その他の資産		
投資有価証券	312,685	50,000
長期貸付金	335,000	335,000
繰延税金資産	405	1,143
その他	26,374	24,678
貸倒引当金	△342,568	△340,349
投資その他の資産合計	331,897	70,472
固定資産合計	951,059	647,880
資産合計	4,249,085	3,331,774

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	1,744,248	430,663
短期借入金	300,000	300,000
未払法人税等	28,594	121,044
未成工事受入金	19,809	48,612
賞与引当金	11,429	6,071
工事損失引当金	3,163	3,163
完成工事補償引当金	90	60
その他	130,771	308,863
流動負債合計	2,238,106	1,218,479
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	6,163	6,163
退職給付に係る負債	85,652	88,376
その他	15,178	11,499
固定負債合計	106,994	106,039
負債合計	2,345,100	1,324,518
純資産の部		
株主資本		
資本金	989,669	989,669
資本剰余金	795,540	763,694
利益剰余金	296,840	431,967
自己株式	△1,900	△1,911
株主資本合計	2,080,149	2,183,421
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△176,165	△176,165
その他の包括利益累計額合計	△176,165	△176,165
純資産合計	1,903,984	2,007,256
負債純資産合計	4,249,085	3,331,774

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
売上高		
完成工事高	3,716,630	3,813,107
不動産管理売上高	611,419	525,771
売上高合計	4,328,049	4,338,878
売上原価		
完成工事原価	3,278,136	3,013,860
不動産管理売上原価	421,513	361,916
売上原価合計	3,699,649	3,375,776
売上総利益		
完成工事総利益	438,494	799,246
不動産管理売上総利益	189,905	163,855
売上総利益合計	628,400	963,102
販売費及び一般管理費	545,362	589,491
営業利益	83,037	373,611
営業外収益		
受取利息	82	21
持分法による投資利益	37,194	53,730
その他	7,605	2,594
営業外収益合計	44,882	56,345
営業外費用		
支払利息	3,290	3,459
手形売却損	32	—
訴訟関連費用	860	—
支払保証料	—	150
その他	3,232	447
営業外費用合計	7,415	4,057
経常利益	120,504	425,899
特別利益		
固定資産売却益	1,111	—
特別利益合計	1,111	—
特別損失		
固定資産売却損	1,109	—
固定資産除却損	—	688
投資有価証券売却損	—	841
営業認可関連費用	—	150,000
損害賠償金	1,255	—
特別損失合計	2,364	151,530
税金等調整前四半期純利益	119,250	274,369
法人税、住民税及び事業税	7,670	141,644
法人税等調整額	△1,070	△2,401
法人税等合計	6,600	139,242
四半期純利益	112,649	135,126
親会社株主に帰属する四半期純利益	112,649	135,126

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	112,649	135,126
その他の包括利益		
土地再評価差額金	△2,243	—
その他の包括利益合計	△2,243	—
四半期包括利益	110,406	135,126
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	110,406	135,126
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	電気工事業	建物管理 ・清掃業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,716,630	611,419	4,328,049	—	4,328,049
セグメント間の内部 売上高又は振替高	173	454	627	△627	—
計	3,716,803	611,873	4,328,676	△627	4,328,049
セグメント利益	43,458	39,572	83,031	5	83,037

(注) 1 売上高の調整額△627千円及びセグメント利益の調整額5千円は、セグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	電気工事業	建物管理 ・清掃業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,813,107	525,771	4,338,878	—	4,338,878
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	652	652	△652	—
計	3,813,107	526,423	4,339,530	△652	4,338,878
セグメント利益又は損失(△)	380,008	△6,400	373,608	2	373,611

(注) 1 売上高の調整額△652千円及びセグメント利益又は損失の調整額2千円は、セグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。